

令和3年

県政

10大

ニュース

第1位 新型コロナウイルス感染症が今年も猛威を振るう

【県民が安心して暮らせる社会を目指し、様々な取り組みを実施】

県民、事業者の皆様にとって、大変厳しい1年であったと思います。引き続き、病床の確保や保健所の更なる体制強化に取り組むとともに、飲食店や観光をはじめ、落ち込んだ産業の支援にも力を尽くしてまいります。



1都3県知事によるテレビ会議が開催



千葉銀行の研修センターを活用して整備した臨時医療施設・療養宿泊施設を視察しました。

**ECMOカー寄贈式**

県の医工連携の補助制度により千葉の企業連携で実現したECMO車両です。日本財団、千葉銀行の支援で千葉大に寄贈されることとなりました。心から感謝します。

第2位 千葉県知事選挙で選出され第21代千葉県知事に就任

皆さまから素晴らしい結果(1,409,496票)をいただき、初当選させて頂きました。皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。県民の命とくらしを守る県政を実現し、千葉の未来を切り開いてまいります。

**第3位** 八街市内の通学路にて、飲酒運転トラックによる児童5人が死傷する交通事故が発生

【事故を受け、県などが対策を実施】

県では、飲酒運転を一日も早く社会から根絶するという決意のもと、事故発生直後から広報車やラジオにより、広く県民に向け、緊急啓発を実施しました。県内の通学路の一斉点検を実施、「見守り活動」や「安全教育」等のソフト対策のほか、「横断歩道の補修」や「ガードレールの設置」等のハード対策を順次実施しています。引き続き、関係機関が連携して、これらの対策を速やかに実施することにより、通学路の安全確保に努めてまいります。

知事からの
メッセージ

こうして昨年を振り返りますと、コロナで県民の皆様の日常生活に様々な制約がある中、オリンピック・パラリンピックをはじめとするスポーツの明るい話題に励まされた1年だったと思います。全ての県民の皆様が、生きる価値、働く価値を感じられる千葉の未来の実現に向け、全力で取り組んでまいります。今年が千葉県にとって、更なる飛躍の年となり、年末の10大ニュースでは、さらに多くの明るい話題をお届けできればと思っております。

県民の皆様にとって、2022年が幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

第4位 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催

【県内では幕張メッセと釣ヶ崎海岸で8競技が実施される】

県内では、オリンピック史上初めて正式種目に採用されたサーフィンなど、両大会で計8競技が実施されました。大会では、本県ゆかりの選手をはじめとするアスリートの活躍などを通じて、スポーツの力を再認識された方も多かったと思います。パラリンピックの開・閉会式や、障がい乗り越え、自身の限界に挑戦するパラアスリートの姿などから、多様性や共生社会といったテーマを言葉抜きに共有できたことは、大きな財産になったと考えています。



東京2020オリンピック・パラリンピックで活躍した本県ゆかりの選手に対して県民栄誉賞等を授与

スポーツと文化を通じた地域活性化、共生社会の実現を進め、本県の持続的な発展につなげていきたいと考えています。

第5位 県内の11農場で高病原性鳥インフルエンザが連続して発生**第6位** 千葉ジェッツふなばしBリーグチャンピオンシップ初優勝**第7位** 北総鉄道 令和4年10月に運賃値下げを行うと発表

現行運賃を、全体として約15%値下げすることとなり、特に通学定期は約3分の1程度になります。北総鉄道の御英断、関係者の皆様の御尽力に感謝申し上げます。この値下げが、沿線地域の活性化に繋がるよう、県では、関係市と連携し、沿線のまちづくり、企業誘致等を進めてまいります。



値下げ

第8位 第49回衆議院議員総選挙の執行**第9位** 東日本大震災から10年**第10位** 令和2年国勢調査人口等基本集計結果の公表

番外編

- ◎京葉線 新駅の名称が『幕張豊砂』に決定
- ◎「ちばアクアラインマラソン2022」
- ◎県が開発した梨の新品種の名称を『秋満月(あきみつぎ)』、カラーの新品種の名称を『ブリリアント・ベル』に決定



秋満月



ブリリアント・ベル